

(株)日本政策投資銀行補足資料

1. 特定投資業務の横展開について
2. 政策効果について

特定投資業務の横展開について

地域に応じた地域活性化のため地域金融機関と共同ファンド推進

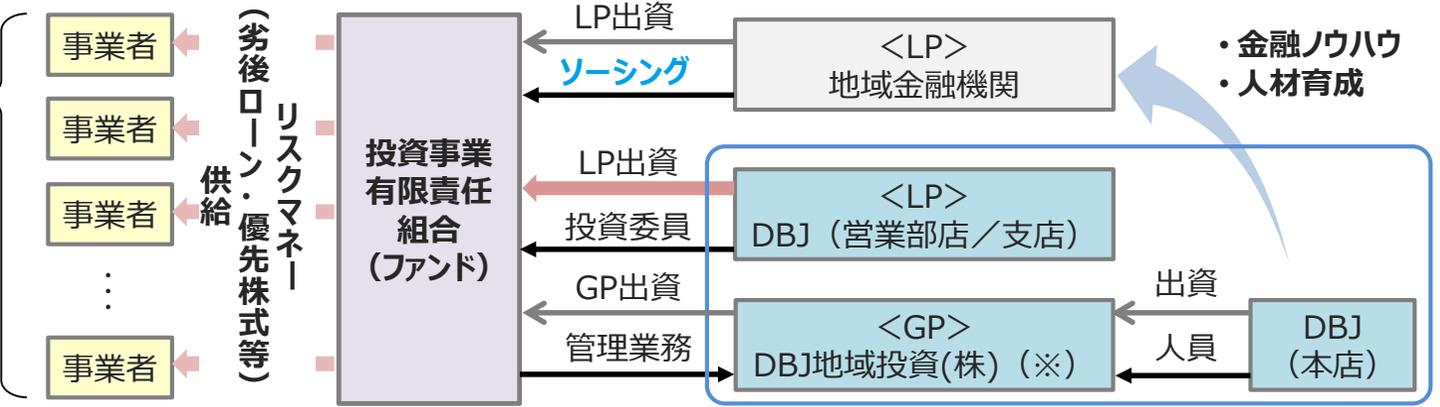
案件概要・取組意義

- ✓ 地域金融機関の取引先を中心に、地域企業や地場産業の成長や地域活性化等に資する取組に対するリスクマネー供給を目的として、地域金融機関との間で共同ファンドを設立（2019年3月末時点：計11ファンド／組成総額343億円（うちDBJコミット額は132億円））。
- ✓ 地域金融機関の案件ソーシング力を活用しつつ、地域金融機関への金融ノウハウの移転及び人材育成の観点も踏まえて、地域金融機関のみでは対応が難しい案件を中心に、リスクマネー（劣後ローン、優先株式等）を供給。

| 名称 | 東海地域中核産業ファンド | みらい地域活性化ファンド | 伊予成長支援ファンド | じもと創生ファンド | せとうち観光活性化ファンド | ほくほく応援ファンド |
|-----|---------------------|--------------|---------------|--------------|---------------|------------|
| 参画行 | 十六銀行 | 横浜銀行、東日本銀行 | 伊予銀行 | きらやか銀行、仙台銀行 | 瀬戸内地域7行 他 | 北陸銀行 |
| 名称 | しずおか事業承継・事業継続支援ファンド | いわて飛躍応援ファンド | みやぎ地域価値協創ファンド | ふるさと産業飛躍ファンド | つむぐ事業承継ファンド | |
| 参画行 | 静岡銀行 | 岩手銀行 | 七十七銀行 | 東邦銀行 | 横浜銀行、東日本銀行 | |

スキームイメージ

- ◆ 地場製造事業者の設備投資や、地域における観光資源を活かした新たな取組等を対象に、メザンやエクイティを供給
- ◆ ファンドからの資金供給とは別途、地域金融機関からシニア・ローンが供与される場合も有り



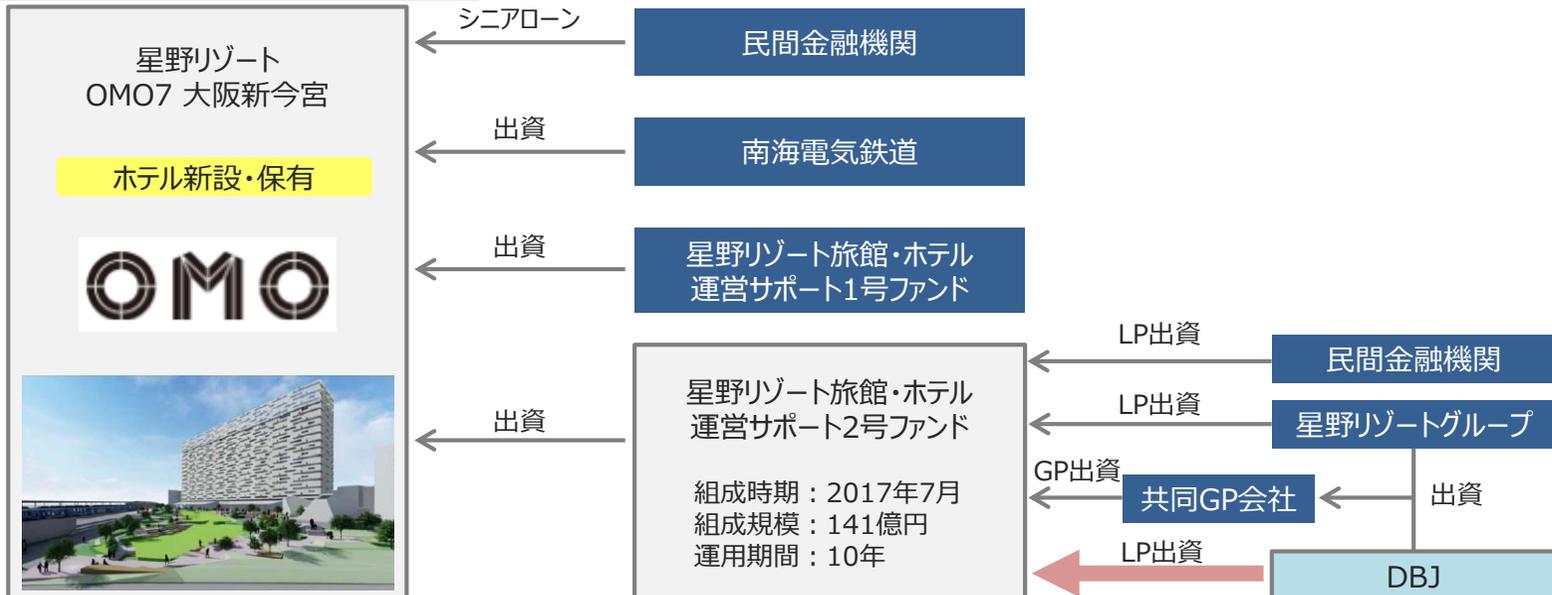
(※) GPは、地域金融機関子会社や、地域金融機関子会社とDBJ子会社による共同GPとなる場合も有り

事業会社のノウハウと金融ノウハウを融合し地域活性化を推進

案件概要・取組意義

- ✓ 本件は、星野リゾート旅館・ホテル運営サポート2号ファンドを通じ、星野リゾート・グループ（以下、「当社」）の旅館・ホテル運営ノウハウを活用し、日本屈指の観光地域である大阪市の旧市有地にて、当社の第4のブランドである「OMO」として都市観光ホテルの開発を行うもの。
- ✓ 空港からのアクセスも良い南海電鉄・新今宮駅隣接地にホテルを新設し、インバウンド需要を含む新たな観光需要の掘り起こしを目指すものであり、地域に根ざした高品質のサービス提供により地域観光産業の活性化を図る取組。
- ✓ DBJは、当ファンドを通じて本件ファイナンススキームのアレンジを主導し、当社及び沿線開発を企図する南海電気鉄道(株)、並びに民間金融機関からのリスクマネー供給を促進するとともに、シニアローンレンダーとして民間金融機関を招聘し、民間との協調関係を確保。
- ✓ 当該ホテル建設については、2019年6月に着工しており、2022年4月の開業に向けて現在工事進捗中。

スキームイメージ



政策効果について

参考) 官民ファンドの活用推進に関する関係閣僚会議幹事会提出資料

「特定投資業務」のKPI

ファンド全体のKPI

KPI=ファンドに期待される趣旨について高い達成度を得た案件の割合(%)
目標=高い割合を得る

企業の競争力強化に関するKPI

- (1) 我が国企業の競争力強化の推進
- 十分に活用されていない経営資源(技術、ノウハウ、設備等)の有効活用による新事業開拓や異分野連携等の経営の革新を支援し、企業の生産性・収益性の向上への貢献が見込まれる取組か。
達成率目標=50%以上(採択する全案件で平均1点以上を目標とする)

地域経済の自立的発展に関するKPI

- (2) 地域への貢献
- 地域経済の自立的発展に資するよう、①地域の主体的な取組(地域の事業者や地域金融機関が関与する取組等)、又は②地域経済へ事業効果が波及する取組(新規立地、設備投資、雇用拡大・維持・利便性向上等)に寄与しているか。
達成率目標=50%以上(採択する全案件で平均1点以上を目標とする)

金融機関その他の者による資金供給促進に関するKPI

- (3) 呼び水効果等
- メザニン・ファイナンスやエクイティ等の成長資金に係る市場の創造に資するよう、民間金融機関・事業者・投資家等と協働した成長資金供給を行っているか。
達成率目標=75%以上(採択する全案件で成長市場創造への寄与することに加え、うち半数以上において、高い寄与度を目標とする)

長期収益性の確保に関するKPI

- (4) 収益性
- ファンドの全体の累積利益がプラス(=positive IRRの確保)になっているか。

個別案件のKPI

KPI=ファンドに期待される趣旨の達成度(評点化:項目毎0~2点)
目標=高い達成度(点数)を得る

企業の競争力強化に関するKPI

- (1) 我が国企業の競争力強化の推進
- 十分に活用されていない経営資源(技術、ノウハウ、設備等)の有効活用による新事業開拓や異分野連携等の経営の革新を支援し、企業の生産性・収益性の向上への貢献が見込まれる取組か。
点数目標=1点

地域経済の自立的発展に関するKPI

- (2) 地域への貢献
- 地域経済の自立的発展に資するよう、①地域の主体的な取組(地域の事業者や地域金融機関が関与する取組等)、又は②地域経済へ事業効果が波及する取組(新規立地、設備投資、雇用拡大・維持・利便性向上等)に寄与しているか。
点数目標=1点

金融機関その他の者による資金供給促進に関するKPI

- (3) 呼び水効果等
- メザニン・ファイナンスやエクイティ等の成長資金に係る市場の創造に資するよう、民間金融機関・事業者・投資家等と協働した成長資金供給を行っているか。
点数目標=2点

※個別案件の収益性については、案件毎にリスクに応じた適正なリターンを要求することとしている。

(注) 個別案件のKPIのうち、収益性を除く各項目毎に2点満点とし、取組の効果が限定的と評価される場合^(例) 支援対象事業者のみに留まり、産業や地域への波及効果が小さい場合などは1点とカウント

新たなビジネス領域開拓に多様なプレーヤーともに参画

案件概要・取組意義

- ✓ グローバル測位サービス(株) (以下、「当社」) は、準天頂衛星システム「みちびき」を用いたセンチメートル級のグローバル精密衛星測位サービスに係る実用性及び事業性評価を目的として、日立造船(株)、(株)デンソー、日立オートモティブシステムズ(株)及び日本無線(株)と設立した共同企画会社。
- ✓ 当社事業は、出資企業等の技術・ノウハウを結集し、高精度な測位情報の配信システムを新たに開発し、自動車・農機・建機の自動運転システムや海洋及び気象観測等のグローバル展開等への導入を図るものである。
- ✓ 企画段階から開発、商用化まで息の長い支援が必要となる中で、金融投資家としてはDBJが唯一参画。
- ✓ サービスの事業化に向け、プロジェクトは順調に進捗。

スキームイメージ



地域と大都市を繋ぐ、6次産業化に向けた食農一貫体制の構築支援

案件概要・取組意義

- ✓ カミチクグループは、鹿児島県を中心に畜産・食肉加工業を営む他、関東等で食肉卸売や外食店経営も手がける畜産企業グループ。
- ✓ 本件は、飼料生産、食肉加工及び外食展開といった畜産に係る一連のバリューチェーンに取り組むことにより、畜産事業の6次産業化（※）を推進するもの。
（※）農畜産業等の1次産業と第2次・第3次産業の一体的な運営等による付加価値向上。
- ✓ 共同投資家として、DBJの他、食品会社や商社、分野専門の官民ファンド（（株）農林漁業成長産業化支援機構（A-FIVE））とも協調し、各社の知見・ノウハウも活用した総合的な支援を実施。
- ✓ DBJは、金融機関唯一の事業パートナーとして、リスクマネーの供給に加え、経営管理の高度化や今後のファイナンススキーム構築等でも貢献。
- ✓ 外食事業は新店開発も含め拡大中、混合飼料事業及び食肉加工事業は計画段階にあり今後事業化予定。

スキームイメージ

